価

南アルプス市	平成	23	年度 ,		マネシメント					年度事業 事後評価			
1132 202 27:15	1 7-74		()	兼) 予算編成	複料·実施			t日 H 24		20 日作成			
= 2h = 14 /2		大利	和川水辺と桜並木	の風景づくり協働	動事業	所属部局		林商工部	単位番号	6231			
事務事業名		, , ,			-	所属課室		り自然課	課長名	戸栗 香			
				l	実施計画事業	所属担当		とりの推進	担当者名	藤巻和彦			
基本政策	基—		うるおいと利便性	のある都市づくり		予算科目	会計 01	名称	数 項 目 8 0 4 0 6				
		3	都市空間の整備				国の	制度による義	務的事業 🔲 🗡	施設等維持管理事業			
	画 体 系	1		±		事業区分)制度による義)制度による義	務的事業 📗 🧎 務的事業 🔽 🧸	補助金交付事業 その他の事業			
施策 ————————————————————————————————————		王度のみ	安らぎ空間の整体		年度)				協議会等の負担	!金			
事業期間	厂期	間限定複	夏数年度(~	年度)	法令根拠	南ア	県緑化計画 ルプス市緑の基					
T			度事業は次年度以	【降3年間の計画/	り容も記載	事業費の主	な内訳	(22年度 金額(千円)) TEC / 4m 44	:			
	は、1~2	2年間、市	「が行い、その後の維持	・ 管理は地元が行うこ	とで、協議をしたが、	項目(細 その他委託料	<u>即)</u>	<u>金額(千円)</u> 項目(細節) 金額(千円) 236					
🔐 管埋の主体が不明な	まま、経	ま、経過してきた。「住民が主体となった桜並木の維持管理」を行うことで、地元					T	200					
の 二 一	·).												
概													
要							i		計	236			
1 現状把握(D (1) 事務事業の目的	O)]と指標	5				\	£4.+15.4m	= 71 = W 0 \		E. #Letal.tan			
活動													
22十汉石到天顺					左云1回(4枚前字	ア: 草刈回数 回 イ: 消毒回数 回							
23年度活動予定	ト早の	刈 病害. 必要な期間	虫防除 整枝・剪定 : 間は概ねH26年度まで	通常の男正は1回/3 施肥1回 枯木4	年で2回は軽男正 植え替え	イ ウ	消毒回	釵		<u></u> 旦			
			対象にしているの				免指標	対象のナキュ		71十記 入したい			
X13K(C0)=1375	未 0	ודי ויין כ	.X13K1CU CV100.	<u> </u>	铁/小寸		3 (1日1示 (名称	C1X 9 1日1示 / 女X 丁	単位			
1 faul 6 T # 1-1+:	+1.1 4 4	W -24 -1	• /4-1+ / /2 m - /			ア	参加住	民数		<u></u>			
大和川の両岸に植	載した を	妥亚木(D維持官埋委託			7							
						1 ウ							
意図(この事務事	業により	対象を	どのような状態にし	ていくのか、どのよ	うに変えるのか)	成	果指標(対象における意	図の達成度を表す	指標)数字は記入しない			
77 TT 1 1 1 1 1 TT > 1			+ 4	= 10/24	- /A ++ *** TT +	·	11012128	名称		単位			
管理の主体が明られ					の維持管埋を、	アドロイン・アンドル・アンドル・アンドル・アンドル・アンドル・アンドル・アンドル・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・							
将来にわたって「住	氏か土	14」とは	つて付つことを氷り	りに協働事業		<u>1</u>							
上位目的(どの。	トうか結	里に結	7が付けるのか)										
					##A P E 18 E **	 -		名称	:	単位			
「住民が主体」となった桜並木の維持管理を行うことを求めて、地元曲輪田区が受託													
	た桜並	な木の維	!持官埋を仃つこと	を氷めて、地元は	出無田区か安託	ア	市民との	の協働事業参	加団体数	団体			
「住民が主体」となっ した協働事業	た桜並	を木の維	 持官埋を仃つこと	を氷めて、地元は	出無田区が安託	ア イ	市民との	の協働事業参	加団体数	団体			
	た桜並	を木の維 				イ	市民との	の協働事業参		団体			
		が大の維	21年度	22年度	23年度	24年度		の協働事業参 25年度	26年度	団体 団体 年度			
(2) 事業費・指標の	惟移	<u> </u>				イ		の協働事業参		団体			
した協働事業 (2) 事業費・指標の語彙 (2) 事業費・指標の語彙 (2) 事業費・指標の語彙 (2) 事業費・指標の語彙 (3) 事業費・指標の語彙	准移 出金	単位千円	21年度	22年度	23年度	24年度		の協働事業参 25年度	26年度	団体 団体 年度			
(2) 事業費・指標の語 (2) 事業費・指標の語 (3) 事業費・指標の語 (4) 事業費・指標の語 (5) 事業費・指標の語 (6) 事業費・指標の語 (7) 事業費・指標の語 (8) 事源	准移 出金 ::	単位 千円 千円 千円	21年度	22年度	23年度	24年度		の協働事業参 25年度	26年度	団体 団体 年度			
Ct	性移 出金 1金 债 他	単位 千円 千円 千円 千円	21年度 (決算·実績)	22年度 (決算·実績)	23年度 (予算·目標)	24年度 (次年度計画·E	1標) (D協働事業参 25年度 計画·目標)	26年度 (計画·目標)	最終年度(トータルコスト・目標)			
Ct	准移 出金 11金 (他 打源	単位 千円 千円 千円 千円	21年度 (決算·実績) 55	22年度 (決算·実績) 	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画·E	1標) (25年度 計画·目標)	26年度 (計画·目標) 23	団体 最終 年度 (トータルコスト・目標)			
した協働事業 (2) 事業費・指標の語 年	生移 出金 計費 他 打源 (A)	単位 千円 千円 千円 千円 千円	21年度 (決算·実績) 55 55	22年度 (決算·実績) 236 236	23年度 (予算·目標) 236 236	24年度 (次年度計画·E	1標) (36 36	25年度計画・目標)	26年度 (計画·目標) 230 230 231	団体 最終 年度 (トータルコスト・目標) 6 6 6 0			
C	准移 出金	単位 千円 千円 千円 千円 千円 千円	21年度 (決算·実績) 55 55 55	22年度 (決算·実績) 236 236	23年度 (予算·目標) 236 236	24年度 (次年度計画·E	1標) (25年度 計画·目標) 236 236	26年度 (計画·目標) 230 230	最終 年度 (トータルコスト・目標) 			
した協働事業 (2) 事業費・指標の語 年	准移 出金	単位 千円 千円 千円 千円 千円	21年度 (決算·実績) 55 55	22年度 (決算·実績) 	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画·E	1標) (36 36 2	25年度計画・目標)	26年度 (計画·目標) 230 230 231	団体 最終 年度 (トータルコスト・目標) 6 6 6 0 2			
Ct	推移 出金 遺儀 他 が源 (A) 事人数 詩間	単位 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	21年度 (決算·実績) 55 55 1 1	22年度 (決算·実績) 236 236 236 2 12	23年度 (予算·目標) 236 236 236 2 12	24年度 (次年度計画·E	36 36 36 2 12	25年度 計画·目標) 236 236 236 2 12	26年度 (計画·目標) 23 23 23	関体 最終 年度 (トータルコスト・目標) 66 60 22 28 0			
Ct	推移 出金 付 (A) 事間 (B)	単位 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 1 1 1 1 1 1 1 1 1	21年度 (決算·実績) 55 55 1 12 54	22年度 (決算·実績) 236 236 236 2 12 54	23年度 (予算·目標) 236 236 236 2 12 48 284	24年度 (次年度計画·E	36 36 2 12 48 84	25年度 計画·目標) 236 236 236 2 12 48 284	26年度 (計画·目標) 230 231 11 44 28.	関体 最終 年度 (トータルコスト・目標) 66 6 0 2. 2 2 8 0 4 0			
Ct	性移 出金 計金 (者) (A) (A) (A) (B) アイ	単位 千円 千円 千円 千円 千円 6間 千円	21年度 (決算·実績) 55 55 1 12 54	22年度 (決算·実績) 236 236 236 2 12 54 290	23年度 (予算·目標) 236 236 236 2 12 48 284	24年度 (次年度計画·E	36 36 36 2 12 48 84	25年度 計画·目標) 236 236 236 2 12 48 284	26年度 (計画·目標) 23 23 23 11 4 28	関体 最終 年度 (トータルコスト・目標) 66 6 0 2. 2 2 8 0 4 0			
Ct	准移 出金 (では、) (A) (A) (B) (B) アイウ	単位 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 1 1 1 1 1 1 1 1 1	21年度 (決算·実績) 55 55 1 12 54	22年度 (決算·実績) 236 236 236 2 12 54 290 1.0 4.0	23年度 (予算·目標) 236 236 2 12 48 284 1.0 4.0	24年度 (次年度計画·E	36 36 36 2 12 48 84 1.0	25年度 計画·目標) 236 236 236 236 248 284 1.0 4.0	26年度 (計画·目標) 23 23 23 11 4 28 1	最終 年度 (トータルコスト・目標) 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日			
Ct	推移 出金 (では、1) (単位 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 1 1 1 1 1 1 1 1 1	21年度 (決算·実績) 55 55 1 12 54	22年度 (決算·実績) 236 236 236 2 12 54 290	23年度 (予算·目標) 236 236 236 2 12 48 284	24年度 (次年度計画·E	36 36 2 12 48 84	25年度 計画·目標) 236 236 236 2 12 48 284	26年度 (計画·目標) 230 231 11 44 28.	最終 年度 (トータルコスト・目標) 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日			
Ct	推移 出金 (では、1) (単位 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 1 1 1 1 1 1 1 1 1	21年度 (決算·実績) 55 55 1 12 54	22年度 (決算·実績) 236 236 236 2 12 54 290 1.0 4.0	23年度 (予算·目標) 236 236 2 12 48 284 1.0 4.0	24年度 (次年度計画·E	36 36 36 2 12 48 84 1.0	25年度 計画·目標) 236 236 236 236 248 284 1.0 4.0	26年度 (計画·目標) 23 23 23 11 4 28 1	最終 年度 (トータルコスト・目標) 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日			
Ct	作 8 金 (単位 千円 千円 千円 千円 千円 十二 千円 十二 十二 十二 十二 十二 十二 十二 十二 十二 十二 十二 十二 十二	21年度 (決算·実績) 55 55 1 12 54	22年度 (決算·実績) 236 236 2 12 54 290 4.0	23年度 (予算·目標) 236 236 2 12 48 284 4.0 30.0	24年度 (次年度計画·E	36 36 36 2 2 112 48 84 1.0 4.0	25年度 計画·目標) 236 236 236 2 12 48 284 1.0 4.0	26年度 (計画·目標) 23 23 23 11 4 28 1 4 30	関体 最終 年度 (トータルコスト・目標) 6 6 0 0 2 2 2 8 0 4 0 0			
Ct	作 8 金 () () () () () () () () () (単位 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 1 1 1 1 1 1 1 1 1	21年度 (決算·実績) 55 55 1 12 54	22年度 (決算·実績) 236 236 236 2 12 54 290 1.0 4.0	23年度 (予算·目標) 236 236 2 12 48 284 1.0 4.0	24年度 (次年度計画·E	36 36 36 2 12 48 84 1.0	25年度 計画·目標) 236 236 236 236 248 284 1.0 4.0	26年度 (計画·目標) 23 23 23 11 4 28 1	関体 最終 年度 (トータルコスト・目標) 6 6 0 0 2 2 2 8 0 4 0 0			
した協働事業 (2) 事業費・指標の受験を表現である。 事業費 財源内訳 事業職 工 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	作 出 : 債他 源 (単位 千円 千円 千円 千円 千円 千円 一 千円 一 千円 一 千円 一 千円	21年度 (決算·実績) 55 55 1 12 54	22年度 (決算·実績) 236 236 236 2 12 54 290 1.0 4.0 30.0	23年度 (予算·目標) 236 236 236 2 12 48 284 1.0 4.0 30.0	24年度 (次年度計画·E	36 36 36 2 12 48 84 1.0 4.0	25年度 計画·目標) 236 236 236 2 12 48 284 1.0 4.0	26年度 (計画·目標) 233 233 11. 44. 28. 1 1 4 30	関体 最終 年度 (トータルコスト・目標) 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日			
した協働事業 (2) 事業費・指標の受験を表現である。 事業費 財源内訳 事業職 工 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	作 8 金 () () () () () () () () () (単位 千円 千円 千円 千円 千円 十二 千円 十二 十二 十二 十二 十二 十二 十二 十二 十二 十二 十二 十二 十二	21年度 (決算·実績) 55 55 1 12 54	22年度 (決算·実績) 236 236 2 12 54 290 4.0	23年度 (予算·目標) 236 236 2 12 48 284 4.0 30.0	24年度 (次年度計画·E	36 36 36 2 2 112 48 84 1.0 4.0	25年度 計画·目標) 236 236 236 2 12 48 284 1.0 4.0	26年度 (計画·目標) 233 233 11. 44. 28. 1 1 4 30	関体 最終 年度 (トータルコスト・目標) 6 6 0 0 2 2 2 8 0 4 0 0			
Ct	作 出 (単位 千円円 千円円 千円円 千円円 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	21年度 (決算·実績) 55 55 1 12 54 109	22年度 (決算·実績) 236 236 236 2 12 54 290 1.0 4.0 30.0	23年度 (予算·目標) 236 236 236 2 12 48 284 1.0 4.0 30.0	24年度 (次年度計画·E	36 36 36 2 12 48 84 1.0 4.0	25年度 計画·目標) 236 236 236 2 12 48 284 1.0 4.0	26年度 (計画·目標) 233 233 11. 44. 28. 1 1 4 30	関体 最終 年度 (トータルコスト・目標) 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日			
Ct	推 出 (単位 干干円円 干干円円 時間 干円回回 人 本 団体 状況(5	21年度 (決算·実績) 55 55 1 12 54 109	22年度 (決算・実績) 236 236 236 2 12 54 290 1.0 4.0 30.0 183.0	23年度 (予算·目標) 236 236 236 2 12 48 284 1.0 4.0 30.0	24年度 (次年度計画·E	36 36 2 12 48 84 1.0 4.0 3.0	25年度 計画·目標) 236 236 236 2 12 48 284 1.0 4.0 30.0	26年度 (計画·目標) 230 231 11 4 28 1 1 4 30	関体 最終 年度 (トータルコスト・目標) 66 0 22 2 84 0 0 .0 			
Ct	推 出 (単位 干干円円 干干円円 時間 干円回回 人 本 団体 状況(5	21年度 (決算·実績) 55 55 1 12 54 109 対象者·社会状況 章で開始されたの:	22年度 (決算・実績) 236 236 236 2 12 54 290 1.0 4.0 30.0 183.0 等) の変化、市目 大和川桜並木の維持管1	23年度 (予算·目標) 236 236 236 2 12 48 284 1.0 4.0 30.0	24年度 (次年度計画・目 22 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	36 36 2 12 48 84 1.0 4.0 3.0	25年度 計画·目標) 236 236 236 2 12 48 284 1.0 4.0 30.0	26年度 (計画·目標) 230 231 11 4 28 1 1 4 30	関体 最終 年度 (トータルコスト・目標) 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日			
Ct	推 出 (単 位 円 千千円円 千千円円 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1	21年度 (決算·実績) 55 55 1 12 54 109 対象者·社会状況 章で開始されたの	22年度 (決算・実績) 236 236 236 236 25 12 54 290 1.0 4.0 30.0 4.0 30.0	23年度 (予算·目標) 236 236 236 248 284 1.0 4.0 30.0 183.0 2	24年度 (次年度計画·E 2 2 2 2 3 3 18	36 36 2 12 48 84 1.0 4.0 3.0	25年度 計画·目標) 236 236 236 2 12 48 284 1.0 4.0 30.0	26年度 (計画·目標) 230 231 11 4 28 1 1 4 30	関体 最終 年度 (トータルコスト・目標) 66 0 22 2 84 0 0 .0 			
Ctrick	推 出 (単 千千千千八間 千千千八間 千千千八 間 十千千八 間 十千十 回 回 人 本 団	21年度 (決算·実績) 55 55 1 12 54 109 対象者・社会状況 章で開始されたの または5年前と比:	22年度 (決算・実績) 236 236 236 236 25 12 54 290 1.0 4.0 30.0 4.0 30.0	23年度 (予算·目標) 236 236 236 248 284 1.0 4.0 30.0 183.0 2	24年度 (次年度計画·E 2 2 2 2 3 3 18	36 36 2 12 48 84 1.0 4.0 3.0	25年度 計画·目標) 236 236 236 2 12 48 284 1.0 4.0 30.0	26年度 (計画·目標) 230 231 11 4 28 1 1 4 30	関体 最終 年度 (トータルコスト・目標) 66 0 22 2 84 0 0 .0 			
Construction	推 出 (単 千千千千八時千千一回回 人 本 団	21年度 (決算·実績) 55 55 1 12 54 109 対象者·社会状況 章で開始されたの 誌たは5年前と比 後の予測は?	22年度 (決算・実績) 236 236 236 236 25 12 54 290 1.0 4.0 30.0 4.0 30.0	23年度 (予算·目標) 236 236 236 248 284 1.0 4.0 30.0 183.0 2	24年度 (次年度計画·E 2 2 2 2 3 3 18	36 36 2 12 48 84 1.0 4.0 3.0	25年度 計画·目標) 236 236 236 2 12 48 284 1.0 4.0 30.0	26年度 (計画·目標) 230 231 11 4 28 1 1 4 30	関体 最終 年度 (トータルコスト・目標) 66 0 22 2 84 0 0 .0 			
Construction	推 出 (単 千千千千八間 千千千一 日	21年度 (決算·実績) 55 55 55 1 12 54 109 対象者・社会状況 章で開始されたの 詩または5年前と比 後の予測は? 事業対象者、議会	22年度 (決算・実績) 236 236 236 236 25 12 54 290 1.0 4.0 30.0 4.0 30.0	23年度 (予算·目標) 236 236 236 248 284 1.0 4.0 30.0 183.0 2	24年度 (次年度計画·E 2 2 2 2 3 3 18	36 36 2 12 48 84 1.0 4.0 3.0	25年度 計画·目標) 236 236 236 2 12 48 284 1.0 4.0 30.0	26年度 (計画·目標) 230 231 11 4 28 1 1 4 30	関体 最終 年度 (トータルコスト・目標) 66 0 22 2 84 0 0 .0 			
C C C C C C C C C C	作 出 (単年十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	21年度 (決算·実績) 55 55 55 1 12 54 109 対象者・社会状況 章で開始されたの 詩または5年前と比 後の予測は? 事業対象者、議会	22年度 (決算・実績) 236 236 236 236 25 12 54 290 1.0 4.0 30.0 4.0 30.0	23年度 (予算·目標) 236 236 236 248 284 1.0 4.0 30.0 183.0 2	24年度 (次年度計画·E 2 2 2 2 3 3 18	36 36 2 12 48 84 1.0 4.0 3.0	25年度 計画·目標) 236 236 236 2 12 48 284 1.0 4.0 30.0	26年度 (計画·目標) 230 231 11 4 28 1 1 4 30	関体 最終 年度 (トータルコスト・目標) 66 0 22 2 84 0 0 .0 			
Construction	作 出 1 債他 源 A 人間 B	単千千千千人時千千回回人本団は沈経をは、「が、沈んなは、「が、沈んなは、「ない」と、「ない」と、「ない」と、「ない」と、「ない」と、「ない」と、「ない」と、「ない」と、「ない」と、「ない」と、「ない」と	21年度 (決算·実績) 55 55 55 1 12 54 109 対象者・社会状況 章で開始されたの 詩または5年前と比 後の予測は? 事業対象者、議会	22年度 (決算・実績) 236 236 236 2 12 54 290 1.0 4.0 30.0 4.0 30.0 50 4.0 2.0 4.0 4.0 4.0 4.0 4.0 4.0 4.0 4.0 4.0 4	23年度 (予算・目標) 236 236 236 248 284 1.0 4.0 30.0 183.0 3.0 183.0	24年度 (次年度計画・目 22 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	36 36 2 12 48 84 1.0 4.0 3.0	25年度 計画・目標) 236 236 236 2 12 48 284 1.0 4.0 30.0	26年度 (計画·目標) 233 233 11. 44 288 1 4 30 30 183	関体 最終 年度 (トータルコスト・目標) 66 0 22 2 84 0 0 .0 			
(2) 事業 (2) 事業 (3) こののの事務事をしい対なのののののののののののののののののののののののののののののののののののの	作 出土債他が(A) (B) (B) (B) (C) (A) 関連 (C)	単 千千千千人間千千回回 人 本 体 けん 対 に 市	21年度 (決算·実績) 55 55 12 54 109 対象者・社会状況 章で開始されたの 詩または5年前と比 後の予測は? 事業対象者、議会 られているか?	22年度 (決算・実績) 236 236 236 236 25 12 54 290 1.0 4.0 30.0 4.0 30.0	23年度 (予算・目標) 236 236 236 248 284 1.0 4.0 30.0 183.0 3.0 183.0	24年度 (次年度計画・目 22 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	36 36 2 12 48 84 1.0 4.0 3.0	25年度 計画·目標) 236 236 236 2 12 48 284 1.0 4.0 30.0	26年度 (計画・目標) 233 233 11: 44 28: 11 4 30 183	関体 最終 年度 (トータルコスト・目標) 66 0 22 2 84 0 0 .0 			
C C C C C C C C C C	推 出 (人)	単千千千千人時千千回回人本団、沢なく関が、沢は、組みれている。	21年度 (決算・実績) 55 55 1 12 54 109 対象者・社会状況 章で開始されたの 続または5年前と比 後の予測は? 事業対象者、議会 られているか?	22年度 (決算・実績) 236 236 236 237 12 54 290 1.0 4.0 30.0 183.0 2.0 等)の変化、市巨大和川桜並木の維持管理でいたが、曲輪田区での自主的な管理を表現したが、曲輪田区での自主的な管理を表現した。	23年度 (予算・目標) 236 236 236 248 284 1.0 4.0 30.0 183.0 3.0 183.0	24年度 (次年度計画・目 22 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	36 36 2 12 48 84 1.0 4.0 3.0	25年度 計画・目標) 236 236 236 2 12 48 284 1.0 4.0 30.0	26年度 (計画·目標) 233 233 11. 44 288 1 4 30 30 183	関体 最終 年度 (トータルコスト・目標) 66 0 22 2 84 0 0 .0 			
Canal	推 出 (人)	単千千千千人時千千回回人本団、沢なく関が、沢は、組みれている。	21年度 (決算・実績) 55 55 1 12 54 109 対象者・社会状況 章で開始されたの 続または5年前と比 後の予測は? 事業対象者、議会 られているか?	22年度 (決算・実績) 236 236 236 237 12 54 290 1.0 4.0 30.0 183.0 2.0 等)の変化、市巨大和川桜並木の維持管理でいたが、曲輪田区での自主的な管理を表現したが、曲輪田区での自主的な管理を表現した。	23年度 (予算・目標) 236 236 236 248 284 1.0 4.0 30.0 183.0 3.0 183.0	24年度 (次年度計画・目 22 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	36 36 2 12 48 84 1.0 4.0 3.0	25年度 計画・目標) 236 236 236 2 12 48 284 1.0 4.0 30.0	26年度 (計画·目標) 233 233 11. 44 288 1 4 30 30 183	関体 最終 年度 (トータルコスト・目標) 66 0 22 2 84 0 0 .0 			

	事務事業名	大和川水辺と桜並木の風景づくり協働事業	所属部	農林商工部	所属課	みどり自然課
2	評価(Check1)担当者に					
П	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策施策に結びつき、貢献しているが上位目的に結びついているが	結びついていない(見直し余地がある) 対 結びついている 【理由】 市民の協働事業により桜並木の管理を行う。 か?意図 ? ?	【理由 】	3評価(Check2))・4 今後の方	句性に反映
的妥当性	公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して	□ 見直し余地がある 【理由 】 □ 妥当である 【理由 】 市が行 環境の保全を維持していくためには、税金を		heck2)·4今後の方 る委託管理が必要である		
評価	現状の対象と意図、成果から考	見直し余地がある 【理由 】 えて、こ 図 適切である 【理由 】 持・継続 環境の保全を維持していくためには、継続し	,	heck2)·4今後の方 妥当である。	向性に反映	
	成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変で成果を向上させることはできる きない場合は何が原因でできなか?	が?で いの	·	heck2)·4今後の方	向性に反映	
有効性評価	類似した目的を持つ事務事業が るか?類似事務事業がある場合 事務事業との統合や連携を図る できるか?	が他にあ ネ、その ことは が合・連携ができない [理 がことは 類似事務事業がない	事業の名称を記由と具体案 】由 】	3評価(С		後の方向性に反映
	休止・廃止した時の影響が 止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止したはあるか?また成果から考えて 廃止することはできるか?	■ 影響あり 【理由と影響の内容 】 場合影響		□ 休止・廃止ができる □ 休止・廃止できない	【理由	
効率	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト) できないか?(仕様や工法の適 民の協力など)	削減余地がある 【理由・具体第 削減余地がない 【理由 】 協働事業による確認書を取り交わしている。 正化、住		3評価(Check2)·4	今後の方向性	生に反映
性評価	人件質の削減宗地 成果を下げず人件費を削減できか?(事業のやり方の見直しに時間の削減や臨時職員対応や 託による削減はできるか?)	よる業務 外部委 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		3評価(Check2)·4	今後の方向性	生に反映
並		E化余地 □ 見直し余地がある 【理由·具体案 □ 公平·公正である 【理由 】 古に偏っ 協働事業により区が受託している。 「す必要	<u> </u>	3評価(Check2)·4	今後の方向性	また 反映
(1)	1次評価者としての評価結果 目的妥当性 ☑ 適切 ☐ 有効性 ☑ 適切 ☐ 効率性 ☑ 適切 ☐ 公平性 ☑ 適切 ☐	見直し余地あり 大和川水辺と桜並木の風景で 業化されたものであり、初年度 見直し余地あり に注視しながら、引き続きこの 見直し余地あり 見直し余地あり	づくり協働事業に その活動としては	ついては、市民との協作 、順調に執行したという	動事業の一事業	で、平成22年度から
(1)	廃止(目的妥当性 、 の 休止(目的妥当性 、 の 必要性検討(目的妥当性 、)改革改善案について 協働事業を維持する。	Check 1 の結果から定める) · · · 複数選択可 結果) 事業統合・連携(有効性 の結果 結果) 成果向上(有効性 の結果) 、 の結果) □ コスト削減(効率性 、 の結果)	公平性改善(公 現状維持(全評	平性 の結果) 価項目で適切)	成果水準 口	コスト水準 維持 増加
	より多くの住民参加				早優先度評価。 	